

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	メディア分析法		
英文授業科目名	Media Analysis Methods		
開講年度	2009年度	開講年次	H
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学科		
担当教官名	坂本 真樹		
居室	西6-511		

公開E-Mail	授業関連Webページ
sakamoto@hc.uec.ac.jp	なし

<b>【主題および達成目標】</b>
五感を通しての知覚や記憶や創造的思考といった人間の認知能力との関係で、主として広告メディアを分析する手法についてお話しします。日常的に接している広告メディアについて、人間の情報処理能力との関係で検討し、認知効果の高いメディアを制作する際に役立つ知識を身につけていただくことが目標です。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
参考文献は授業時にお知らせします。

<b>【授業内容とその進め方】</b>
<p>第1回：ガイダンス          第2回：広告効果についての概論          第3回：視点推移とTVCM          第4回：眼球運動測定法          第5回：Web広告          第6回：知識形成          第7回：知識調査法          第8回：言語データの解析法(1)</p>

## 電気通信大学 平成21年度シラバス

第9回：言語データの解析法（2）  
第10回：知識写像  
第11回：広告における知識写像  
第12回：共感覚能力  
第13回：共感覚能力と広告  
第14回：共感覚能力と広告コピー  
第15回：応用編

### 【授業時間外の学習（予習・復習等）】

時々簡単な課題を出します。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

レポート及び授業参加度を次のように総合評価します。  
成績評価 = 出席点15点 × 授業課題への取り組み15点 × レポートの評価点70点  
評価基準：授業内容を理解している（最低達成基準） C  
適切かつ十分な量のデータを収集できている B  
授業内容に基づく理論上の仮説を実証する実験などを行える A  
実験結果について授業内容の適切な理解に基づき独創的な考察を行える S

### 【オフィスアワー：授業相談】

メールで連絡ください。

### 【学生へのメッセージ】

認知科学と広告科学と言語に関する知見をもつ教員ならではの授業を展開したいと思います。乞うご期待！

### 【その他】

特になし